

天狗党

明治を待てなかつた志士たち。



年/月	天狗党の歩み	渋沢栄一、幕末日本の動向
1860	・第9代水戸藩主の徳川斉昭が病死	・桜田門外の変
1864 3	・藤田小四郎ら天狗党、筑波山で挙兵 ・武田耕雲齋を首領とし、京都への進軍を開始	・渋沢栄一、一橋慶喜に仕官 ・禁門の変 ・第一次長州征伐
12	・美濃(岐阜県)から大野藩に進行(5日) ・木ノ芽峠を越え、新保(敦賀市)に到着 ・包圍を受け降伏(11日)	・一橋慶喜、天狗党追討軍総大将となる
1865 2	・永覚寺にて、幕府による取り調べ(1日) ・来迎寺にて、353名が処刑(4~23日)	
1866	・遠島処分浪士が小浜藩預かりとなる	・薩長同盟が成立 ・徳川慶喜が第15代将軍に就任
1867	・佐柿の准藩士屋敷に浪士が移住	・渋沢栄一、幕臣としてパリに派遣される ・大政奉還
1868		・戊辰戦争が勃発、明治に改元

天狗党
ゆかりの
スポット情報
最新情報は
こちら



天狗党とは

幕末の水戸藩において「尊王攘夷」を主張した改革派。1864(元治元年)年、武田耕雲齋、藤田小四郎らを中心に筑波山で挙兵。一橋慶喜を頼り京を目指したが、敦賀で降伏。353名が斬首、約470名が遠島・追放他扱いとなった。

「近代日本経済の父」
とも呼ばれる渋沢栄一が
活躍した幕末から明治の動乱期。
「尊王攘夷」を掲げて決起した
水戸藩の改革派「天狗党」は
なぜ福井の地で散ったのか。
ゆかりの地には
その志と哀しみが満ちていた。

幕末明治の偉人たち(福井藩・水戸藩)

天狗党・幕末福井の
偉人たちの
エピソードはこちら



水戸藩
徳川斉昭
水戸藩第9代藩主。藤田東湖、武田耕雲齋などの有能な人材を登用し藩政改革に尽力。尊王攘夷の急先鋒として活躍。

水戸藩
一橋(徳川)慶喜
徳川斉昭の七男。天狗党挙兵時の禁裏御守衛総督(京都御所を警護する役職)。天狗党の追討軍総大将となる。

天狗党・武田耕雲齋
1864(元治元年)年、尊王攘夷を唱えて挙兵。朝廷に志を訴えようと京都へ上る途中、敦賀の新保で捕らえられる。悲劇の運命を辿った天狗党だが、福井での宿泊時の地元民との交流など、逸話が数多く残っている。

土佐藩
坂本龍馬
新政府の
財政担当に
推挙

福井藩
松平春嶽
福井藩第16代藩主。橋本左内など身分にとらわれず人材を抜擢し、改革を推進。幕末の四賢侯に数えられる。

幕府改革派
橋本左内
一橋慶喜を次期将軍にすべく、春嶽の側近として活躍。「安政の大獄」で捕らえられ、26歳の若さで命を落とす。

親交
由利公正
福井藩の財政再建を実現。「五箇条の御誓文」の原案の起草や、日本初の全国通用紙幣「太政官札」を発行。

福井の幕末関連スポット

- 福井市立郷土歴史博物館**
「養浩館」に隣接し、越前松平家に伝わる文物等が展示されている。「へんしん越前屋」では振袖や鎧兜など昔の衣装を無料で体験できる。
●福井市宝永3-12-1 ☎0776-21-0489
- 名勝 養浩館庭園**
福井藩主松平家の別邸で「御泉水屋敷」と呼ばれた。建物を囲む園池を中心に樹木や石組が効果的に配され、その優雅さは海外からも高い評価を得ている。1982年に国の名勝に指定。
●福井市宝永3-11-36
- 左内公園**
その才を買われ、藩主松平春嶽公の側近として活躍した橋本左内は、26歳のとき「安政の大獄」で斬首。本公園には左内の墓所などが設けられている。
●福井市左内町7
- 箕屋旅館跡**
1867年11月、由利公正(当時、三岡八郎)と坂本龍馬が、箕屋旅館で日本の将来について夜更けまで語り合ったとされる。その後火事で焼失した旅館跡に、石碑が建てられている。
●福井市照手1-14

2024年に、渋沢栄一の肖像画がデザインされた新紙幣が発行されることもあり、紙幣の歴史や製造技術に注目が集まっている。紙幣、つまりお札の歴史をさかのぼっていくと、辿り着くのは福井の伝統工芸、越前和紙。

日本初の全国通用紙幣! 「太政官札」
江戸末期に福井藩の財政を立て直し、明治新政府で「徴士参与(現在でいう財務大臣)」の職に就いた由利公正は、「太政官札」と呼ばれる紙幣を発行し、政府の財政安定化に尽力した。太政官札は、日本で初めて全国流通した紙幣とされ、近代的な経済体制に移行するきっかけとなった。この太政官札に使われたのが、越前和紙である。太政官札による財政安定化策は、渋沢栄一がのちに推進する産業振興を下支えした。その後の様々な功績により「経済の父」と称される渋沢は、新たな紙幣で「経済の顔」となる。

現代に受け継がれる越前和紙の技術
太政官札同様、現在の紙幣にも「みつまた」という和紙と同じ原料が使われている。また偽造防止のための「すかし」には、越前和紙の紙すき職人が開発した技術が使われている。

岡太神社・大瀧神社
越前和紙の産地、越前市今立五箇には、日本で唯一の紙の神様、「川上御前」を祀る岡太神社と、国の重要文化財に指定されている大瀧神社があり、全国の製紙業者から信仰を集めている。
●越前市大瀧町13-1 ☎0778-43-0330 平日9:00~17:00 (岡太講 石川)